

2023年6月1日から2024.5.31までの  
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2023.8.1 現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	186	200	233
備 南	2,500	56	80	57
美 作	800		50	33
玉 野	700	170	20	20
県 計	10,000	401	350	344



第三六回県本部大会成功へ向け  
今こそ、「国賠署名」「会員拡大」に踏み出そう!!

県本部 事務局長 福井正樹

「日本共産党の百年」を読みな

がら思う。一九二二年党創立から一九三五年の十数年しか読まないのに、当時の政治スローガンが現在と違和感を持たないことに驚く。

「二七年テーゼ」と第一回普通選挙に「非合法」の党が労農党から立候補するという「決断と勇氣」。その政策は今少し、変えれば現在も通用するスローガンである。

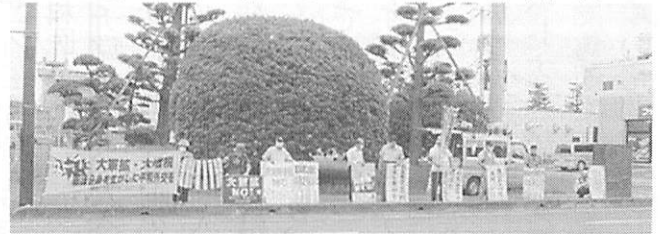
希代の弾圧法「治安維持法」は

岡山県版  
No. 328  
2023年8月15日  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
岡山県本部  
〒710-0131  
倉敷市天城台  
4-7-12 福井方  
振替 01300-4-99361  
mail: family-fukui@khf.biglobe.ne.jp

一九二五年につくられる。これは日本共産党創立の三年後。そして一九二八年の「赤旗」発刊、第一回普通選挙と3・15弾圧。戦前の活動にも「闘いの弁証法」「攻防のプロセス」が貫かれて

治安維持法

賠償同盟はこの「治安維持法体制」が清算されないと「新しい政治」は生まれないと奮闘している。「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」上映運動は戦後の闘いの礎となった人たちの生涯を語っているが「百年史」は二四歳で獄死した四人の女性活動家を紹介し



ている。

「日本国憲法」を生かす新しい政治実現の闘いに戦前の暗黒の時代を命かけて、国民の良心を声に出し、行動した青年たちの業績とその生涯を今、学び生かす時と思う。

自民党、金田勝年元法務大臣の参院での答弁は「治安維持法」に対する無反省、不見識を露わにした。今、維新の党の「暴力革命の党」なくなればよい」の暴言は「治安維持法体制」が今も生きていることを示す。

「治安維持法国家賠償法」制定の署名運動を対話を広げ、国民的運動に。

「治安維持法弾圧の実態の公表、犠牲者の発掘、顕彰」。

「二日も早い」二万人の同盟員を「いずれも先に延ばせない課題と」なっている。

今こそ「治安維持法犠牲者」の闘いに学び、再び戦争と暗黒政治を許さない運動を

女性部  
だより

### 六六回目の平和行進 “一歩での二歩でも”

女性部 柚木康子

七月二十四日、船穂支所から玉島支所までの平和行進。今年も参加しました。

四四歳の母が一九五八年に旧玉島市役所で、広島から東京まで歩く西本あつしさんと玉島からの増本しうんさんを迎え、サポートして兵庫県境まで歩いた記録が残っています。母が語っていたことで

旗をもって歩いていると農家の方が「東京までは遠いよ。この木陰で休んでください」と鎌で勝ち割った真っ赤なスイカをこちそうしてくれました。真っ赤なトマト、キュウリをかじりながら歩き「広島、長崎を繰り返しはならぬ。国同士の戦争、宗教での争い。子供同士の温かい心を思えば、人権と命の大切さ、尊さが解る気がする。平和行進が後、何年続くかわからないけど。世界中が平和でつながり、交流できるようなるまで続けよう。」と。

五〇回目の平和行進の時、九三

歳で平和行進を迎え、「一歩でも二歩でも」と歩き、見送りました。翌年の八月に永眠。「原爆許すまじ。」を八月にいつも口ずさんでいました。

—本庄豊さんの寄稿論文から(前衛六月号)

「昨年、一月一三日に治安維持法同盟の県本部大会で講演をする機会を得た。

講演後、上品な感じの高齢の女性が『西本あつしさんと玉島市役所で会っています。母と一緒にした』と。当時は小学校五年生だったそうである。華やかな歓迎式典でその盛大さにあつしは恥ずかしくなっていた。そのあつしを、目を細めてみている女性たちの姿が目に見えがぶ」

### 「不屈」を読む時

宇垣信子

読む時はいつも姿勢を正して読んでいます。どの人も平和を願い、民主主義を貫いて運動をしている。

「反共は戦争前夜の声」。反動権力は共産党をつぶしてから戦争を始めている。常套手段だ。故早乙女勝元さん著の「アンネ・フランク」を私は一六回読んだ。ヒトラーは「日本軍国主義から学んだ」と言っている。

Viktor・エミールフランク著の「夜と霧」は三回読んだ。ユダヤ人の精神科医。

ヒトラーはナチ党が一番、大きくなってからユダヤ人絶滅計画を立てた。虐待、殺害、ガス室、人権無視の残虐な仕打ち。アンネは強制収容所の中でチフスに罹り、一五歳と九ヶ月で命が果てた。三歳上の姉、マルゴットの後を追うように。将来はジャーナリストになりたかったというのに。

もう一つはベトナム戦争のこと。岡山の移動図書館で借りて読んだ。米国が電気の拷問で弾圧し

た。小国のベトナムは大國アメリカに勝った。ホー・チミンルートで北から南への食糧や医薬品の輸送で犠牲になった十八歳の青年がいつも胸に浮かんでくる。ケン・バイ・チョイだったか。

### 7月 事務局日誌

- 5日 県本部常任理事会中央理事會
- 7日 美作支部役員會
- 8日 倉敷革新懇總會
- 10日 岡山支部役員會
- 12日 「不屈」発送作業
- 15日 高島地域「伊藤千代子」上映実行委員会準備會
- 「不屈」美作版發行
- 26日 倉敷民商支える会總會